

# MSR Insights

ミャンマーの現状をシンタンの視点やデータから解き明かす

2019年10月23日

ビジネスコンサルティング / ジャパンデスク

Director / 瀧波 栄一郎

## 2020年ミャンマー総選挙の展望

～NLD、国軍系以外で重要となる第三勢力の存在～

### 1. 国軍排除は短期的には困難。総選挙以降も NLD と国軍の共存は継続される

来年はミャンマー総選挙の年である。民主主義政権を安定化させたい NLD としては引き続き過半数超の議席を狙うが、近年雲行きが怪しい。要因としては、①軍事勢力を排除する大胆な変革が実現できていないこと（憲法改正等）②経済面での投資目標の下回り ③通貨安などを背景としたインフレの加速 ④少数民族に配慮した政策実現ができていないこと（少数民族との和平制定の遅れ等）が挙げられる。①についてスーチー氏は、内情混乱を避けるために、国軍と共存する方向でこれまで政権を担ってきた。またロヒンギャ問題などで生じている欧米社会からの非難には、自身のレピュテーションを犠牲にしつつも、国民（特にビルマ族）や軍部を敵に回さない現実路線を貫いてきた。来年度選挙以降も、軍部が持つ聖域（25%の軍人議員枠、国防/内務/国境大臣の任命権など）に切り込むことは非常に困難と言わざるを得ない。

### 2. 88 世代による人民党は票の受け皿となるか？

スーチー氏としては引き続き軍部との共存路線維持ではあろうが、USDP など軍系が国民の支持を得ることはないだろう。では仮に選挙で NLD が単独で過半数取得できなかった場合、どの党と連立政権を組むのだろうか。近年は元国軍ナンバー3 で、スーチー氏との距離も近いシュエマン氏が、自身で政党を立ち上げ大統領就任の意欲も見せている。また来年に向けてシャン州などの地方部を中心に、民族系の政党が連合を組み始めるだろう。弊社内に設置するシンクタンク部門でも度々議論するが、最も有望視しているのは、新政党 People's Party（人民党）である。人民党は 1988 年の民主化運動で元学生リーダーのコーコージー氏が党首を務め、スーチー氏との関係も良好だ。前回選挙では、NLD 圧勝シナリオを築くために、自身は控え NLD に潜勢力を譲った位置づけである。今回選挙では、人民党が第三勢力となり NLD と連立を組むことが、安定的な民主政権 2 期目の運営につながると考えている。

### 3. ポストスーチー氏は誕生するか？

スーチー氏は今年で 74 歳。“ポスト”スーチー氏となる人物は未だ挙げられない。他アセアンの経済成長の歴史をみると必ずといって強力なリーダーシップがあった。マレーシアのマハティール、インドネシアのスカルノ、シンガポールのリークアンユーなどがすぐに思い浮かぶ。開発独裁色の強いリーダーシップが必ずしも良いとはいえないが、多民族国家で、資源も豊富、かつ少数民族が軍閥のように存在感を持つミャンマー経済水準を向上させるためには、強権的にでも実行力のある政治家・実力者が適している可能性も否めないのではないだろうか。そのようなリーダーは果たして NLD、はたまた元学生運動家、民間出身

者、軍部、少数民族などどこから呱呱の声をあげるだろうか。弊社でも国外機関と共同で定期的に世論調査（Opinion Poll）を行っている。来年に向けて最新の政治情勢を追っていき、日系企業の皆様への情報提供に努めたい。

Dr. San Tun Aung/瀧波

（終）



MSR シンクタンクメンバーと討議の様子（MSR 本社）

※本レポートは MJ Business（ミャンマージャパン）2019 年 10 月号に掲載した内容です。

## 著者略歴



瀧波 栄一郎（Eiichiro Takinami）

Director / Myanmar Survey Research（MSR）

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング、Deloitte Tohmatsu Consulting にて一貫して、海外進出支援を専門とするチームで、大手日系企業の海外進出案件に従事。専門は海外事業立案、市場調査、提携先選定、JV 交渉支援など  
慶應義塾大学法学部卒業 e-mail : [takinami@myanmarsurveyresearch.com](mailto:takinami@myanmarsurveyresearch.com)

## MYANMAR SURVEY RESEARCH (MSR) に関して

1995 年に創業をしたミャンマー最大手のシンクタンク・リサーチ会社。国内外の民間企業と政府機関向けに Marketing、Social、Industrial、EIA の 4 分野で各種調査・コンサルティングサービスを提供。近年は政府・JICA・JETRO と共同で地方州における投資フェアの開催や、民間企業向けのコンサルティングサービスを拡充。18 年にジャパンデスクを設置し、日系企業のミャンマー進出支援や市場調査を行う

ジャパンデスク HP : <http://msr-jp.com/>